

説 明 書

様（ 歳 ヶ月）の手術・検査・麻酔等について必要なことを下記または別紙のとおり説明いたしました。

平成 年 月 日 形成外科 説明医師 署名_____

☆PRP療法による治療について： PRP(Platelet Rich Plasma)とは、ご自身の血液から、血小板を多く含む

PRP液を作成し、それを体に戻す治療（再生医療）です。血小板中に含まれる成長因子が、注射部位に放出されることにより、皮膚や皮下組織、腱などの治癒や再生を促すことで、創のなおりを良くしたり、皮膚や皮下組織の再生を促すことで、小じわや、皮膚のたるみを改善して、皮膚の若返りを図ったりする治療です。

○**施術の実際：** ご自身の血液を10～100mlほど（注入カ所により異なります）採取します。清潔操作下に血液に特殊処理を行い、PRP液を作成します。PRP液作成に30分ほどかかりますので、この時間を利用して、予定注射部位にクリームによる麻酔を行います。PRP液は、治療希望の範囲に比較して、広めに注射する必要があり、注射は皮膚内を中心に行います。このため、注射カ所は数十カ所から百カ所程度になります。

□**治療後の効果発現：** PRP注射をおこなった部位は、2-3日は腫れを生じます。注射による皮下出血も生

じます。PRP注射部位は腫れが引いた後、一度、治療前の状態に近くなり、その後2ヶ月ほど時間をかけて、治療の効果が現れてきます。治療効果には個人差があり、治療効果を保証するものではありません。また、美容治療にPRPを用いた場合、年齢とともに進行する皮膚の老化はありますので、時間の経過に沿って追加治療が必要になります。

▽**治療の合併症や副作用：** まれに、採血に伴う内出血や末梢神経損傷、吐き気や失神のリスクがあります。(通常の採血と同様のリスクです)。PRP治療後は腫れや内出血を生じることがあります。

△**PRP治療の向かない方：** 妊婦の方、抗血液凝固療法（ワーファリン、アスピリンの内服をされている方）には、PRP療法は行っていません。病気のある方は、内容を医師にお教えいただき、医師の判断の下、治療の可否を決定します。

□**治療を受けることを拒否することについて**

この治療を受けるか拒否するかは、ご自身の自由な意思でお決めください。説明を受けた後に同意されない場合でも、一切不利益を受けることはありません。

□**他の治療と同様、PRP療法も、治療に関して、医療者には守秘義務が適用されます。**治療に関連して撮影した写真などは、患者さんの了解なしに、使用されることはありません。治療に関して、何か心配を生じた場合は、いつでもお気軽にご相談ください。また、治療を中止したい場合は、随時可能ですので、いつでもお申し出ください。

○ PRP療法の施術費用 採血20mlまでにつき80,000円(税抜き)です

□他の治療法との比較 裏面を参照ください。

伊那中央病院長 殿

同意書・承認書

担当医より現在の病状と（手術・検査・麻酔等）の必要性と、それに伴う合併症や今後の見込みなどについて詳しく説明を受けよく理解できました。つきましては、緊急の場合または医学上の立場から、手術・検査・麻酔等に関して変更のある場合を含め同意・承諾いたします。

年 月 日

患者署名_____